

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2001-68010 (P2001-68010A)

【公開日】平成 13 年 3 月 16 日 (2001.3.16)

【出願番号】特願 平 11-244180

【国際特許分類】

H 0 1 H 85/18 (2006.01)

H 0 1 H 85/38 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 85/18

H 0 1 H 85/38

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 28 日 (2006.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】大電流遮断部と小電流溶断部とからなるヒューズエレメントを絶縁ケース内に外気と隔絶した状態で密閉収納し、而も上記ヒューズエレメントの大電流遮断部における遮断部材の遮断部を消弧部材で覆うようにした電線ヒューズにおいて、

前記消弧部材が、ヒューズエレメントの大電流遮断部における遮断部材の外側に挿通取付けしてなる筒状の絶縁容器と、該絶縁容器内に充填した無機粒状物からなる消弧体とからなり、

前記大電流遮断部における遮断部材に最細径部を形成し、該最細径部が前記消弧体の開口側端面より露出した状態にあり、而も絶縁ケース並びに絶縁容器が透明であることを特徴とする電線ヒューズ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

第 2 の発明は、大電流遮断部と小電流溶断部とからなるヒューズエレメントを絶縁ケース内に外気と隔絶した状態で密閉収納し、而も上記ヒューズエレメントの大電流遮断部における遮断部材の遮断部を消弧部材で覆うようにした電線ヒューズにおいて、

前記消弧部材が、ヒューズエレメントの大電流遮断部における遮断部材の外側に挿通取付けしてなる筒状の絶縁容器と、該絶縁容器内に充填した無機粒状物からなる消弧体とからなり、

前記大電流遮断部における遮断部材に最細径部を形成し、該最細径部が前記消弧体の開口側端面より露出した状態にあり、而も絶縁ケース並びに絶縁容器が透明であることを特徴とするものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 4 】

